

レミリア・スカーレット

能力：『運命を操る程度の能力』

所属：[紅魔館](#)(旗揚げ戦～第12回大会)、

無所属(第13回大会～第15回大会)

[幻想郷ナイトメア](#)(第16回大会～第21回大会)

[紅魔館](#)(第22回大会以降。幻想郷ナイトメアを改名)

[チルノ軍](#)(当人の知らない所で登録されている模様)

ファイト・スタイル

永遠に紅い幼き月

無差別級でもかなりの小兵であるがそれを感じさせない十分なパワー、その体を大きく見せる跳躍力、柔軟なテクニックを持ち、投打の双方に死角がない。

またその身体能力から繰り出される跳び技のバリエーション及び美しさは団体でもトップクラスであり、会場の熱気を赤より紅い色に染め上げてしまう。

しかし、タッグマッチだと何故か巧く試合に絡めなかったり、呆気なく3つ取られたりする事が多い。

一方霊夢が絡む試合かシングルマッチでは見違えるような動きを見せる。

これらの現象が巷で言われる「レミリア逆補正」と関係しているのかどうかは不明。

不夜城レッド

レミリアの必殺技。

相手の体を踏み台にして跳び上がって仕掛けるボディスプラッシュ。

素晴らしい瞬発力を持つレミリアならではの技で、

これが放たれた途端観客席は大歓声に揺れ、時折何者かの忠誠心がほとばしるといわれる。

原型はファイブシリーズオリジナル技「エッフェル・ド・パラシュート」。

技名は[東方永夜抄](#)他で用いる『紅符「不夜城レッド」』より。

グングニル

ボディスラムの要領で抱えた直後に開脚ジャンプし、脳天から相手を落としたのち片エビ固めで固める。

第5回興行より使い始めた技で、相手をマットに槍の如く突き刺す様から命名された。

元はTAKAみちのくの必殺技である「みちのくドライバーII」。

技名は[東方萃夢想](#)他で用いる『神槍「スピア・ザ・グングニル」』より。

レッドマジック

レミリアが使う丸め込み系技の総称、3カウントをとった場合「レッドマジック完成」となる。

代表的なものは「ミステリオ・ラナ」や「ミ・アモール・デ・ミ・ノビア」だが、[射命丸文](#)はそれぞれ

「う～らかん・ラナ」「れみりあクラッチ」と勝手な命名をしており、

それを不服としたレミリアが自ら提案した。

DRAGONGATEのアンソニー・W・森が使う丸め込み系の技を「エレガント・マジック」と呼ぶ事に対するオマージュ。

技名は[東方紅魔郷](#)で使う『「レッドマジック」』より。

レミリアスペシャル1号(仮)

場外に転落した相手に向かって、ロープの反動と側転で勢いをつけて飛び込むムーンサルトアタック。

これまで実戦では第16回大会にて霊夢・萃香組とのノンタイトル戦で一度しか披露されていない、秘中の秘といえる空中殺法。

オリジナルは、みちのくプロレスに所属するザ・グレート・サスケのサスケスペシャル1号。
正式名称募集中。

への膝蹴り

キック、というよりは膝ごと相手に体当たりするように放たれる跳び膝蹴り。
元は『ブサイクへの膝蹴り』だが、いくら何でも失礼なので実況が対戦相手に応じて独断で変更させている。
しかし、実況が文の場合は時々余計に失礼な事を言って編集されたり、発言内容自体がスキマ送りになったりする。

シーリングフィア

コーナーポストそばでダウンしている相手に仕掛ける技で、相手側のコーナーポストに向かって走り、セカンドロープに飛び乗って月面宙返りしつつ、空中で体を180°捻って背中から落ちる。
不安定な足場からでも放たれる高い跳躍と姿勢制御が見物の技である。
オリジナルは元DRAGONGATE、現新日本プロレスのミラノコレクションA.T. 助走をつけたセカンドロープからのムーンサルト
『エンポリオ・アルマニッシュ』の派生技『アルマニッシュ・エクスチェンジ』である。
名称の由来は東方緋想天にて使用したスキルカード(スペカに非ず)『シーリングフィア』。

その他使用技

マヤ式スープレックス(ジャーマンのあと背中越しに相手の脚部に体重をかけて固める)
不知火改(雪崩式の要領で仕掛け、相手ごとムーンサルトで跳んで背中から叩き付ける離れ業)
断崖式フランケン(コーナーポストに座らせた相手をフランケンシュタイナーで自分ごと場外へ落とす)
マッドスプラッシュ(跳び箱を跳ぶように大きく開脚して跳ぶ変型フロッグスプラッシュ)
ダークネスバスター(クロスアーム式のブレンバスター+ノーザンライトボムのような複雑な投げ技)など。
華麗かつ見栄えのする固有技が多く、オリジナルの名前が是非とも欲しいところである。

戦績

[[部分編集](#)]

+ 全戦績 -ネタバレを含むので注意-

タイトル歴

LSW王座

第三代(防衛1回)

LTW王座

初代王者タッグ(フラン)、防衛記録なし

受賞歴

2008年度東方プロレス大賞

最優秀スペルホールド賞(不夜城レッド)

人間関係

- ▶ [フラン](#)(実の妹、かつての[団体分裂抗争](#)の相手)
- ▶ [咲夜、美鈴](#)(旗揚げ以来の従者)
- ▶ [霊夢](#)(初期シリーズにおけるライバル)
- ▶ [魔理沙](#)(正規軍よりヘッドハンティングしたが後に裏切る)
- ▶ [幽々子](#)(現行シリーズにおけるライバル、ベルト奪回を宣言)
- ▶ [チルノ](#) ([チルノ軍](#)としてメンバー入りしてるが、否定的、のはずであったが...)

入場曲

亡き王女の為のセプテット

評

[部分編集]

-

人気の絶えないトップキャラ

興行初期における対[正規軍](#)ユニットのリーダーとして、旗揚げ戦より参加。

[LSW](#)ベルト創設の提案者でもあり、団体の牛耳を執るべく自らユニットを率いて活動する。

一方何故か[チルノ軍](#)の助っ人に駆り出されたこともある。

カリスマを体現すべく大物らしいパフォーマンスを心がけており、そのプライドの高さは戦い方にも現れる。

凶器は用いず自らの力と技で相手を倒すことを信条とし、それはバトルロイヤルなどの特殊ルールにおいても同じ。

そんな彼女だが、屈辱的な負けを喫すると人目はばからず泣き出してしまう。そこが人気の理由でもあったりする。

団体トップの一角であると同時に、マスコットの存在でもある。

+ 紅魔館当主として、団体の一員として 旗上げ大会～第12回大会

+ 紅い悪魔の雌伏 第13回大会～第23回大会

+ 新たな戦いへ 第24回大会～第32回大会

+ 紅魔館、3度目の危機? 第33回大会～第35回大会

+ カリスマとかりちゅまと 第36回大会～

+ 前座の女王

+ カリスマの裏の顔

[このページを編集](#)